

日本アルミニウム協会の取組

資料 1



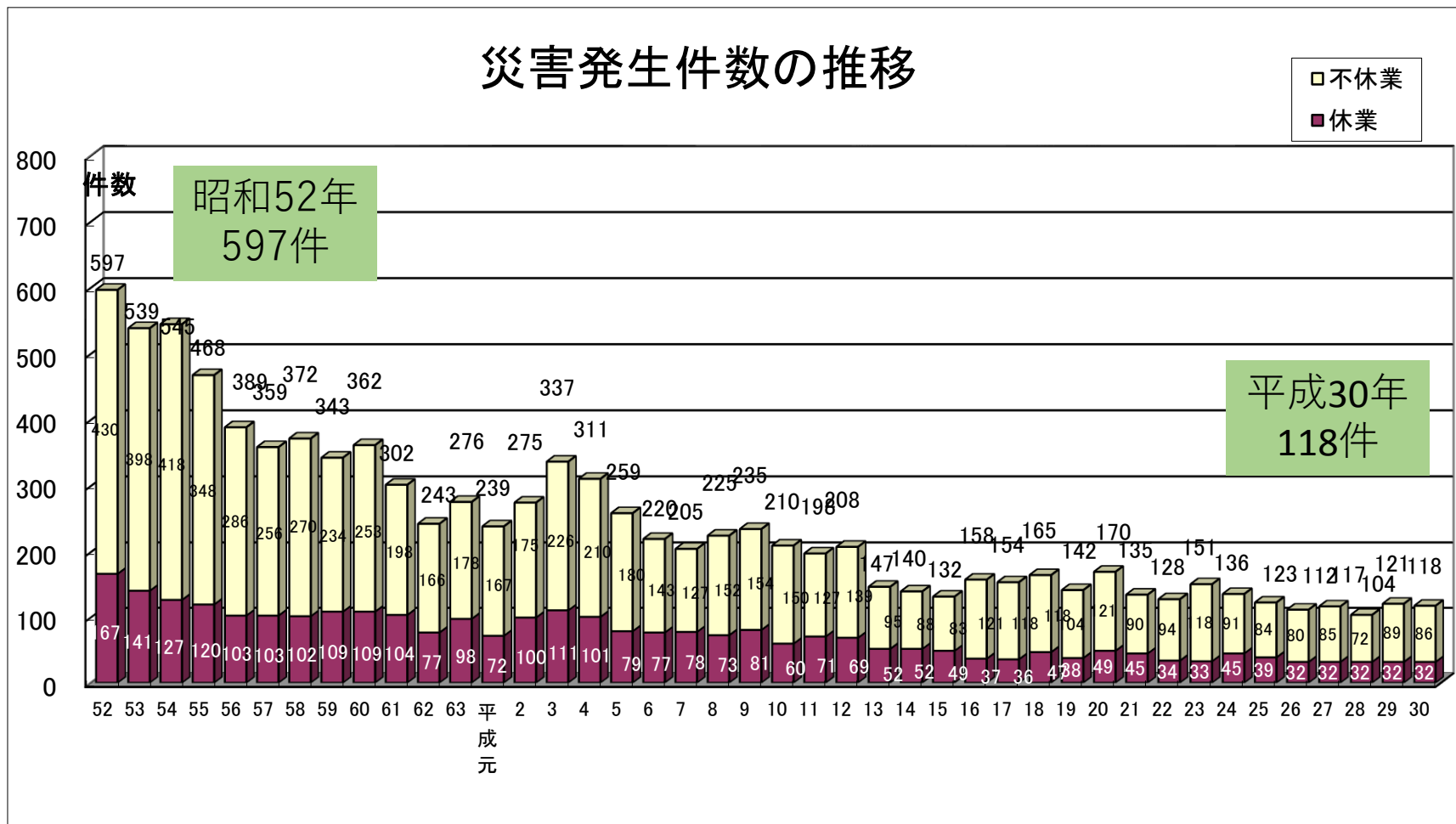
1. 平成30年度 安全委員会 計画対実績

○計画 ●実績

項目	内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	備考	経営理念
※ 製造業安全対策官民協議会	・協議会への参画	←												協議会会長（平成30年度）	項目 1～4
	・神戸宣言の取組	○● 周知	←											(協議会、WG、SWGへ出席)	
1 安全委員会（本委員会）	・労働災害統計（毎月）	○●			○●			○●			○●			委員長：UACJ	項目3 項目4
	・関東地区委員会		○●		○●			○●			○●			委員長：UACJ押出加工小山	
	・関西地区委員会		○●		○●		○●				○●			委員長：東洋アルミニウム	
	・北陸中部地区委員会	○●				○●				○●	○●			委員長：UACJ	
2 災害事例集	・冊子発行					○●						○		2019年4月⇒7月予定	項目3
	・H/P更新		○●												項目4
3 管理監督者体験交流会	体験発表とグループ討議	○●												第99回：北陸中部地区委員会主催	項目3
	安全に関する講演														項目4
4 工場見学会（委員会社）	地区委員会主催	○●	○●											6月：日本軽金属（北陸中部）	項目2
														7月：三菱アルミニウム（関東）	項目3
5 異業種交流会	関東地区委員会主催						○●							日本製紙（株）石巻工場	項目2
															項目3
6 安全優良事業場表彰	優良賞、特別優良賞											○●	表彰式：アルミ協会総会	項目1	
7 全国産業安全衛生大会	事例発表					○●								発表：日本軽金属	項目3
8 緑十字賞（中災防）	安全委員会委員の推薦					○●								表彰式：全国産業安全衛生大会	項目3
9 厚生労働大臣顕彰	安全優良職長の推薦								○●					表彰式：厚生労働省	項目3

2. 労働災害統計と安全成績

災害統計 44社127工場（従業員約3.2万人、構内協力約1万人）



<労働災害件数>
 2018年（平成30年）
 : 118件
 休業32件
 （死亡災害：1件）
 不休業86件

- ・ 118件は、過去4番目に少ない
- ・ 死亡災害は平成26年以来の発生

3. 神戸宣言に対する日本アルミニウム協会の取組み

以下の取組みについて、6月21日開催の安全委員会にて審議・承認され、周知致しました（2018年）。

1) 4つの経営理念のうち、

項目1～3項※¹については、各会員企業の実情に合わせ、労働安全に関する年間計画に織り込む。

※1 項目1. 経営層のリーダーシップ 2. 安全への投資 3. 安全人材の育成

2) 項目4※²については、当協会内の安全委員会において、

- 毎年開催する管理監督者体験交流会での事例発表や討議テーマに、反映させる。
- 前年度発生した労働災害を分析し、当業界で取り組むべき課題、原因・対策を検討し、その結果を会員企業内で共有する。

※2 項目4. 重点課題の取組

4. 労働災害の分析

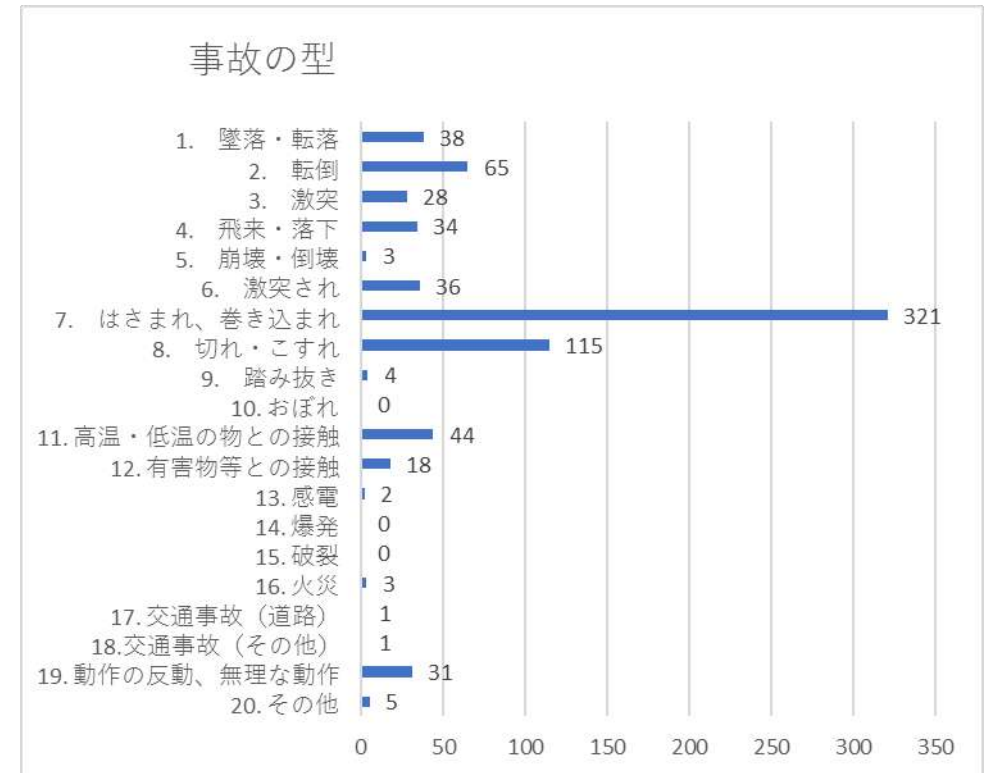
(1) 過去10年間の分析 (2007~2016年)

- ・「はさまれ・巻き込まれ」が全体の43%と最も多い
- ・機械/工程別では、
押出、圧延・スリッター等が多い

⇒厚生労働省の委託事業（経年設備の調査、
本体設備の「はさまれ、巻き込まれ」対策）
にて、23社62事業場がアンケートに協力。
また、安全対策の取組事例の現地調査にも
(株)UACJ名古屋製造所が協力。

厚労省発行のパンフレットを配布し周知。

⇒第100回管理監督者体験交流会（2019年開催）
の講演テーマに検討する。



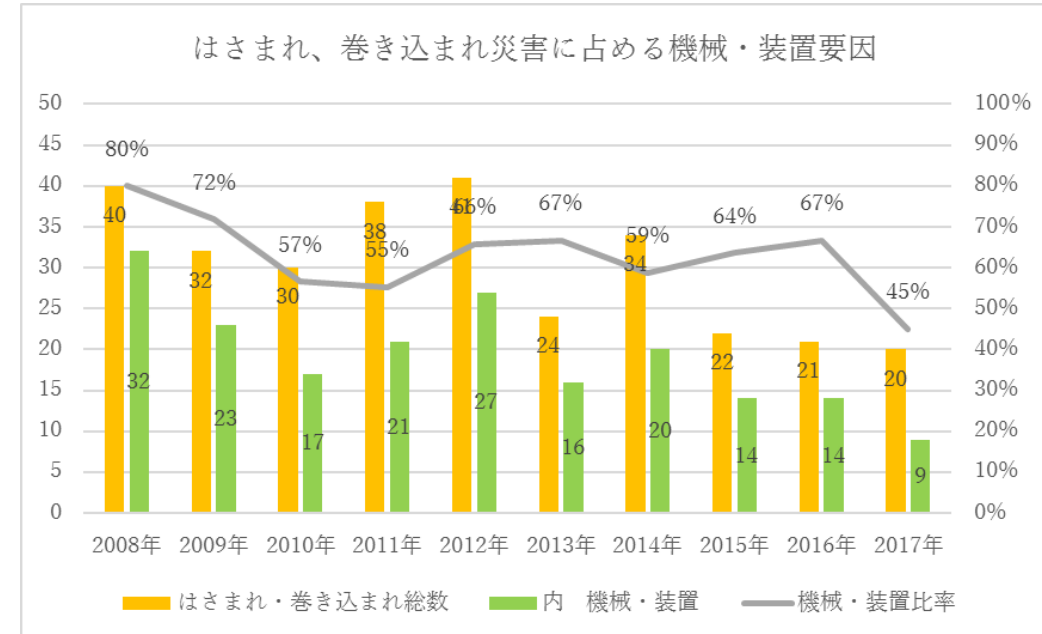
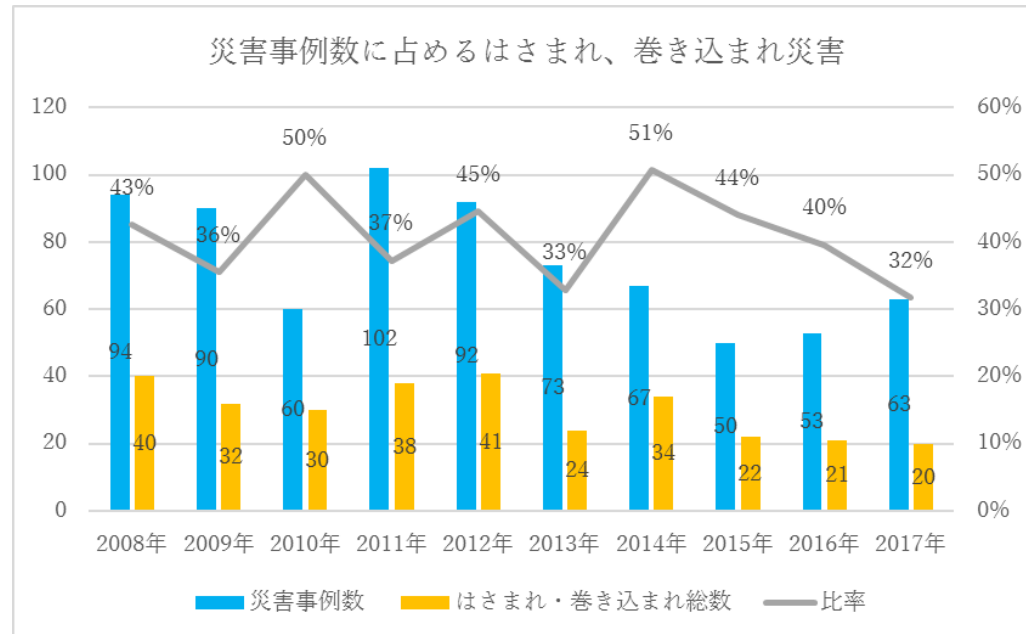
4. 労働災害の分析

(2) はさまれ、巻き込まれ災害の推移（過去10年間：2008～2017）

- ・安全柵やインターロックによる人と設備の分離（本質安全化）を進めてきたが、はさまれ、巻き込まれ災害は減少しているとは言えない。

⇒「はさまれ、巻き込まれ」を「機械・装置」と「運搬・その他」の起因別に層別した結果、「機械・装置」要因ではやや減少傾向にある。

⇒安全委員会で周知し、「運搬・その他」での安全対策の必要性を共有化。



4. 労働災害の分析

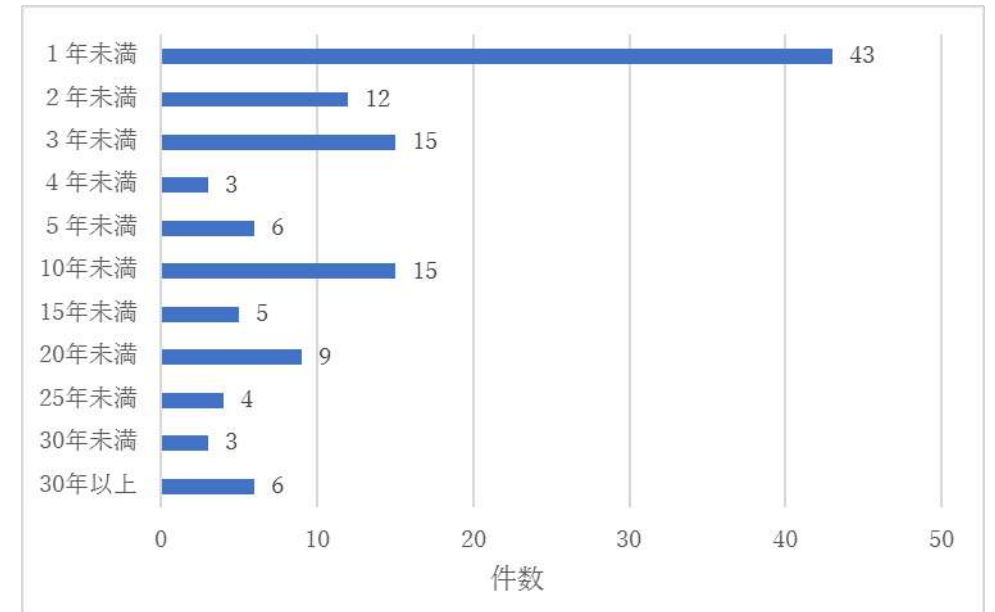
(3) 平成29年（直近1年間）の分析

- ・ 経験年数 1年未満36%、3年未満58%を占める。
- ・ 年齢別では18～25歳（26%）、次に31～35歳（16%）が多い。
- ・ 傷病別では切創（26%）、部位別では手・指（51%）

⇒ ・ **安全委員会で周知。**

・ **第100回管理監督者体験交流会
（2019年開催）のグループ別討論で、
「経験年数の浅い作業者への安全教育」
をテーマに討議する。**

経験年数ごとの労働災害件数



5. 第99回管理監督者体験交流会（2018年6月22日）

- ・北陸中部地区安全委員会が主催（参加者：89名）
- ・現場リーダー（職長や作業長、主任）の情報交換の場

（1）体験発表（4社4件）

- ①「災害ゼロに向けて」（三協立山）
- ②「安全ノート活用による無災害継続に向けた改善活動」（UACJ）
- ③「一般作業におけるロックアウト・タグアウト」（YKK AP）
- ④「本多金属工業の安全衛生活動」

（2）グループ別討論

テーマ①発表事例 ②玉掛け・クレーン作業の安全対策

（3）講演：宮城学院女子大学 心理行動科学科 大橋智樹 教授

「ヒューマンエラーの本質と対策」～産業心理学の立場からの提言～



6. 工場見学会（委員会社）

- ・北陸中部地区安全委員会：6月 日本軽金属(株)名古屋工場
- ・関東地区安全委員会：7月 三菱アルミニウム(株)富士製作所

7. 異業種交流会

日本製紙(株)石巻工場（日本製紙連合会）にて、11月16日開催。

参加：15名。

（日本製紙連合会とは2017年11月に当協会の(株)神戸製鋼所真岡製造所を訪問し、相互の交流会を開催した）



8. 安全表彰

平成30年度労働安全優良事業場を表彰（5/29総会にて）

- ・ 特別優良：23社・事業場
- ・ 優良：5社・事業場

（対象：43社・126事業場）



日本アルミニウム協会総会にて、岡本会長から賞状と盾を授与（各社経営層トップが出席）

9. 令和元年度 安全委員会 計画

計画○

項目	内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	備考	神戸宣言
※ 製造業安全対策官民協議会	・協議会への参画	←											→		項目 1～4
	・神戸宣言の取組	○ 周知	←										→	(協議会、WG、SWGへ出席)	
1 安全委員会 (本委員会)	・労働災害統計 (毎月)	○			○			○			○			委員長：日本軽金属	項目3 項目4
	・関東地区委員会	○			○			○			○			委員長：三菱アルミニウム	
	・関西地区委員会		○			○		○			○			委員長：東洋アルミニウム	
	・北陸中部地区委員会		○			○			○		○			委員長：三協立山	
2 災害事例集 ・冊子発行	2回/年発行					○						○			項目3
	・H/P更新		○												項目4
3 管理監督者体験交流会	体験発表とグループ討議 安全に関する講演	○												第100回：関東地区委員会主催	項目3 項目4
4 工場見学会 (委員会社)	地区委員会主催	○	○											6月：日本軽金属 (北陸中部) 7月：三菱アルミニウム (関東)	項目2 項目3
5 異業種交流会	関東地区委員会主催						○							計画中	項目2 項目3
6 安全優良事業場表彰	優良賞、特別優良賞												○	表彰式：アルミ協会総会	項目1
7 全国産業安全衛生大会	事例発表					○								発表：三菱アルミニウム LIXIL	項目3
8 緑十字賞 (中災防)	安全委員会委員の推薦					○								表彰式：全国産業安全衛生大会	項目3
9 厚生労働大臣顕彰	安全優良職長の推薦								○					表彰式：厚生労働省	項目3

10. 第100回管理監督者体験交流会（6月28日）

- ・ 関東地区安全委員会が主催（参加者：129名）
- ・ 現場リーダー（職長や作業長、主任）の情報交換の場

(1) 来賓：厚生労働省労働基準局安全衛生部奥村安全課長

(2) 体験発表（4社4件）

①「低経験者向け安全教育」（神戸製鋼所）

②「常磐鋼帯の安全活動」（常磐鋼帯）

③「加工箔設備に於ける 設備本質安全化の推進」
（UACJ製箔）

④「日軽新潟株式会社安全衛生活動」（日軽新潟）

(3) グループ別討論

テーマ①発表事例

②経験年数の浅い作業員への安全教育

(4) 講演：中央労働災害防止協会

「“はさまれない、巻き込まれない”ために」

⇒当業界の災害統計、災害事例を事前に説明し内容に織込む。



体験発表



グループ別討論